

国語科学習指導案

「効果的な話し方をしよう」
(中学校 第2学年)
神奈川県立総合教育センター



【『「現在求められている教育」を関連させた学習指導』平成22年3月】

研究成果物冊子『「現在求められている教育」を関連させた学習指導』の6ページに記載されている「指導計画作成モデル」に基づいて、「キャリア教育」と「読解力向上に関する教育」を関連させた単元の指導計画を作成し、中学校第2学年国語科で実施した学習指導案です。

1 学年 中学校 第 2 学年

2 教科名 国語

3 教科目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

4 単元名 「効果的な話し方をしよう」

5 単元目標

社会生活の中から話題を決め、話すための材料を多様な方法で集め整理する。
相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの意見を検討して自分の考えを広げる。

6 児童・生徒の現状から判断したこの単元で「主に付けたい力」

生徒が、自分の思いを他者にうまく伝えることができずに、困っている場面をよく見掛ける。そこで、この単元では、「相手」を意識し、「何を伝えるか」を考えさせることで、効果的な話し方を学ばせ、表現する力の育成を目指す。

総合的な学習の時間に実施する職場体験活動と関連させた話題を提示し、身近な話題で学習意欲を高め、課題を解決する力の育成を目指す。

7 関連させる教育

キャリア教育

総合的な学習の時間に職場体験活動の事前学習をしており、その学習との関連を図り、生徒にとって身近な題材を提示することを通して、課題を解決する力の育成を目指す。

読解力向上に関する教育

市の観光協会が発行している「観光協会便り」等から必要な情報を取り出し、その情報を基にプレゼンテーションの内容を考え、班ごとにまとめたものを発表する学習活動を通して、課題を解決する力や表現する力の育成を目指す。

8 単元の指導計画

(1) 単元の時間数 4 時間扱い

（ 2 ）単元の評価規準表

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
市の良いところを紹介しようという課題に関心を持ち、市で働く人々の立場になり、紹介文を考えている。	自分の意見を述べるとともに、他者の意見との違いを聞き取っている。 話の内容や目的に応じた語句を選択し、話の順序や話し方を考えて、印象に残る発表になるように話し合っている。 話し方の工夫やその効果について考えながら聞いている。	言葉の意味や使い方に注意し、相手に効果的に伝えるための話し方を理解している。 聞き手を意識して、話し方や話の組み立て、資料などを工夫し、説得力のあるプレゼンテーションを行うことができる。

（ 3 ）単元の指導計画 太字で下線が引いてあるものは本単元で「主に付けたい力」

時間	学習 内容	「付けたい力」 (教師の指導内容)	児童の学習活動	指導上の留意点	評価規準		
					関	話	知
1	効果的なプレゼンテーションをするためのポイントを知ろう	情報を取り出す力 (テキストから必要な情報を意識して取り出させる。)	教科書を読み、プレゼンテーションについての基本的な知識を得る。	ブレンストーミング、KJ法等の手法を学習する。			
2	課題に沿って、プレゼンテーションを作成しよう	課題を解決する力 (市で働いている人々の立場から、自分たちの市の良いところについて考えさせる。) 伝え合う力 (班内で意見を交流させながら、まとめさせる。)	自分たちの市の良いところはどこか、見所は何かなどを挙げ、売り込みのアイデアを考え提案する。 ブレンストーミングでそれぞれの意見を出し合う。 班として役割分担を決めプレゼンテーション資料を作成する。	市の観光協会が発行している「観光協会便り」を資料として活用する。			
3	プレゼンテーションの改善点について話し合おう	表現する力 (班内で効果的な発表について検討させる。)	班の発表について気が付いたことを書き出し、効果的な発表になるように話し合う。	班でそれぞれが気が付いたところを話し合いアイデアをまとめさせる。			
4	プレゼンテーションを行い、相互評価と自己評価をしよう	表現する力 (課題について、班ごとに発表させる。) 他者を理解する力 (相互評価を通して、他者の良い点について気付かせる。)	班ごとにプレゼンテーションを行う。 他の班の発表を聞き、良いと思う点を記録する。	発表を聞いて相互評価をする。			

丸数字は単元の評価規準表に対応、太枠内が本時の学習

9 本時の学習（単元の 2 時間目）

（1）本時の目標

「市の良いところを紹介しよう」という課題について、市で働く人々の立場になって紹介文を考え、自分の意見を述べるとともに、他者の意見との違いを聞き取ることができる。

（2）準備物

市の観光協会が発行している「観光協会便り」、模造紙、付箋紙、画用紙、マジック、マグネット

（3）本時の展開

過程	付けたい力 (教師のねらい)	学習活動の流れ	指導上の留意点	評価規準 [評価方法]
導入	課題を解決する力 (市で働いている人々の立場から、自分たちの市の良いところについて考えさせる。)	自分たちの市の良いところはどこか、見所は何かなどを挙げ、売り込みのアイデアを考え提案する。	市の観光協会が発行している「観光協会便り」を資料として活用させる。市で働く人々の立場や、市の観光協会の人々の立場になって、考えさせる。考えた紹介文を付箋紙に書かせ、後で模造紙にはらせる。	【関心・意欲・態度】 市の良いところを紹介しようという課題に関心を持ち、市で働く人々の立場になり、紹介文を考えている。 [観察、付箋紙]
展開	伝え合う力 (班内で意見を交流させながら、まとめさせる。)	<p>ブレインストーミングでそれぞれの意見を出し合う。</p> <p>付箋紙を模造紙にはり付け、KJ法でまとめる。</p> <p>班として役割分担を決めプレゼンテーション資料を作成する。</p>	<p>意見に対して否定的なことを言わないように指示をする。</p> <p>出し合った意見を、班ごとにKJ法でまとめさせる。</p> <p>効果的なプレゼンテーションになるように、互いの意見を交流させながら、まとめの作業を行わせる。</p>	【話す・聞く能力】 自分の意見を述べるとともに、他者の意見との違いを聞き取っている。[観察、付箋紙、模造紙]
まとめ				

点線内が予想される生徒の発言

（４）本時の学習評価

【国語への関心・意欲・態度】

学習活動における具体的評価規準	市の良いところを紹介しようという課題に関心を持ち、市で働く人々の立場になり、紹介文を考えている。
「十分満足できる」状況（A）と判断した具体的状況例	課題に関心を持ち、職場体験活動の事前学習で学んだ市内で働く人の言葉や、「観光協会便り」からの確に必要な情報を取り出し、紹介文を考えている。
「努力を要する」状況（C）と評価した生徒への手だて	職場体験活動の事前学習で学んだ市内で働く人の言葉を思い出させたり、「観光協会便り」を活用する視点を示したりしながら、市の良いところについて再度考えさせる。

【話す・聞く能力】

学習活動における具体的評価規準	自分の意見を述べるとともに、他者の意見との違いを聞き取っている。
「十分満足できる」状況（A）と判断した具体的状況例	自分の意見を述べるとともに、他者の意見との違いや共通点を聞きとって、まとめることができる。
「努力を要する」状況（C）と評価した生徒への手だて	自分の意見と似ている意見や違う意見があるかどうか尋ね、自分の言葉で言い換えさせる。